



わかさ

消防だより

編集・発行

若狭(組)消防本部

小浜市大手町7-8

TEL 53-0119(代)

<http://www.wakasa-fd.jp>

第98号

令和6年能登半島地震 緊急消防援助隊が被災地へ



石川県珠洲市で活動する若狭消防組合の職員

春の火災予防運動

3月20日(水)～3月26日(火)

2023年度全国統一防火標語



火を消して 不安を消して つなぐ未来



住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう

令和6年1月1日午後4時10分

石川県能登地方を震源とし同県志賀町で最大震度7を記録した能登半島地震が発生。
若狭消防組合からも緊急消防援助隊として現地へ向け出発し活動を行いました。

※緊急消防援助隊とは……

平成7年（1995年）阪神淡路大震災を教訓に全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、平成7年6月に創設されました。

*若狭消防組合の職員は福井県大隊として、第一次派遣隊から第三次派遣隊まで延べ20名が現地で活動を実施、11名を救助しました。



活動を終え松崎管理者に帰隊の報告を行いました



倒壊家屋内を捜索

★石川県珠洲市内において
1月1日～1月10日まで、倒壊
家屋で一人でも多くの命を救おうと
懸命に救出活動や捜索活動を行って
いる若狭消防組合の職員



救助活動中の職員



捜索活動

住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう

「防火ポスター」で優秀賞を受賞

県内165校から3,202点の応募があり、9消防局・本部の選考を通過した27点の中から下島惇生さん（若狭町立瓜生小学校4年）の作品が優秀賞に選ばれました。
下島さんは敦賀市で開催された福井県消防大会において表彰されました。



廃棄標識にお絵かき 園児に防火を呼びかけ!!

SDGs の高まりから廃棄する標識を有効活用できないか。若狭消防署名田庄分署では廃棄する水利標識を利用し防火に対する啓発活動の一環として園児に絵を描いてもらい、防火への理解を深めてもらいました。



～消防団活動に従事されている消防団、 消防団員を紹介します～



高浜消防団 団長
隅田修生さん



わが街の消防団

今回は、高浜消防団団長の隅田修生さんをご紹介します。

隅田さんは、株式会社リカースミダで社長をされています。通常の業務と消防団活動を両立され、今年で消防団入団から勤続24年を迎え、永きにわたり、防火思想の普及と高揚に努めています。

また、崇高な使命感と郷土愛にあふれ、まじめでほがらかな性格と高いリーダーシップ能力により、他の団員からの信頼も厚く、令和2年度からは団長としてその職責を自覚し、高浜消防団の先頭に立ち、地域住民の期待を背負い活動されています。

防火フェスティバル開催



令和5年11月9日 高浜町立青郷保育所において防火フェスティバルが開催されました。

イベントを通して、幼年期から火災について正しく学び、消防の仕事を理解してもらい、火あそびなどによる火災の減少を目的に平成13年から開催しています。

2023年 火災・救急・救助統計 (若狭消防組合)

	本 署	上中分署	名田庄分署	高浜分署	大飯分署	合 計
火 災	8 (+2)	4 (-1)	1 (+1)	4 (+2)	1 (0)	18 (+4)
救 急	1,313(+83)	321 (+30)	130 (-8)	487 (-4)	276 (-11)	2,527(+90)
救 助	10 (+1)	3 (-4)	1 (+1)	6(+4)	4 (+1)	24 (+3)

()内は前年比

★火災件数は、18件 (前年比4件の増加)

火災種別では、建物火災が9件(前年比2件増)、車両火災が3件(前年比3件増)、その他火災が6件(前年比増減なし)でした。

出火原因をみると、建物火災では、こんろ、電気配線等があげられます。その他火災では、発生した6件には、屋外においてのごみの焼却から拡大した火災があげられます。



★救急出場件数は、2,527件 (前年比90件の増加)

医療機関に収容した患者数は2,223人で、65歳以上の高齢者が占める割合は1,534人で69.0%でした。

出場種別では、急病が1,633件で全体の64.6%を占めています。

★救助出場件数は、24件 (前年比3件の増加)

出場件数24件のうち活動件数は18件(前年比6件増)で、救助人員の数は17人(前年比5人増)でした。事故種別では交通事故が10件で全体の41.7%を占めています。



その他のお知らせや話題は
ホームページで確認できます。

